

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています



2023年
6月1日発行
No.516

June

6

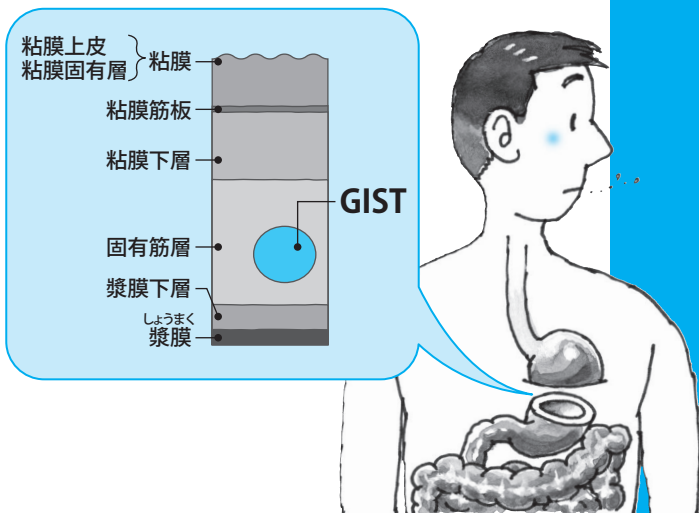
特集

がんに克つ! ②7

ジ ス ト

GIST(消化管間質性腫瘍) P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 病理診断科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト 細胞検査士 P-6



病院理念

私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

がんに克つ! ジェス ト GIST (消化管 間質性腫瘍)

日本人の2人に1人が一生のうちに一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

GIST とは、Gastrointestinal Stromal Tumorの略で、「消化管間質性腫瘍」と呼ばれます。

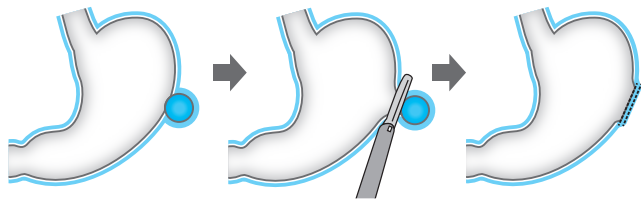
10万人に1～2人位のまれな病気ですが、口から肛門まで、食べ物の通る消化管にはどこにでもできます。このうち、胃が60～70%を占めていて、ほとんど症状がなく、胃の検診(バリウムや内視鏡検査)で「粘膜下腫瘍ですね」と言われて発見されることが多いです。また、胃潰瘍などの他の病気で内視鏡検査を受けて偶然発見される方、時には突然腫瘍の内部が破れて出血し、救急車で病院に搬送されて診断される方もいます。GISTは、「がん」という名前こそつきませんが、がんと同じように無症状のうちに静かに大きくなり、どんどん仲間を増やして他の臓器に転移したり、命を奪ったりすることもあります。

胃がん は胃の表面の粘膜(胃独自の働きである胃酸や消化酵素を分泌する実質)から発生しますが、GISTはその地下にある筋肉や骨組みの部分(=間質)から発生します。内視鏡で見ると、きれいな皮(粘膜)をまとっている(粘膜下腫瘍)ので、おいそれとは診断が付きません。この正体を見破るには、内視鏡を用いた専門的な検査(切開生検法やエコー内視鏡ガイド下生検:原則として1泊2日入院)を行います。組織を採取して、その正体をあぶり出します。

GISTと診断がついた際には、基本的に手術をお勧めしています。



胃がんのように胃の広い部分を切除することなく、部分的に切除することがほとんどですので、術後も胃の働きはそのまま残ります。



「粘膜下腫瘍」の中には治療を要しない「平かつきんしゅ滑筋腫」や「異所性膵」など

いった良性のものもあり、その場合は定期的に様子を見ることになります。しかし、時間を追って大きくなる、あるいは最初から一定の大きさ(2cm以上)がある粘膜下腫瘍は、精密検査が望ましいとされています。お心あたりの方は、かかりつけの先生や検診の先生と相談のうえ、必要に応じて専門的医療機関を受診してください。



文責：消化器内科 部長
細田 佳佐
(写真前列左から3番目)

さらに詳しい情報などを、YouTubeの“聖隷浜松病院チャンネル”で配信しています。ぜひ、ご覧ください。

YouTube 聖隷浜松

検索



インフォメーション

眼科・眼形成眼窩外科 外来移転のお知らせ

7月24日(予定)、現在建設中の新S棟内に眼科・眼形成眼窩外科外来を移転し、受付80に変更いたします。お間違いないようお願いいたします。



新S棟に関して、次号(7月号)で特集します

イベント情報

参加無料・申込み不要

会場と
オンライン開催

生活習慣に関する病気の予防講座

テーマ：長生きするための秘訣～生活習慣を見直そう～

▶ 日 時 …… 7月1日(土) 10:00～

オンライン見逃し配信：7月1日(土)～9日(日)

▶ 場 所 …… 大会議室(医局管理棟地下1階)

※詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

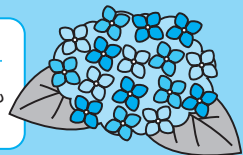
▶ 問い合わせ… 学術広報室

TEL 053-474-2753(平日8:30～17:00)



◆ 今月の色：あじさい

大きなアジサイに抱かれて、背中の痛みも消えていた



新任
医師紹介

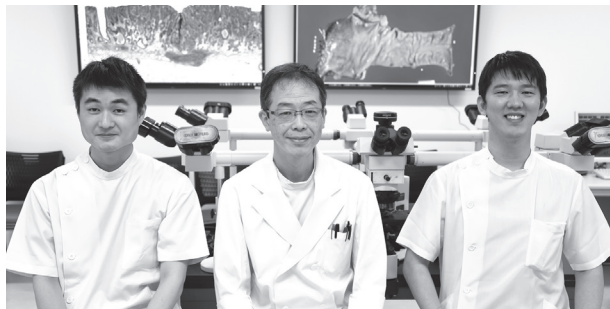
緩和医療科
ナガナワ ユ ミ コ
永縄 由美子
滋賀医科大学
(2010年卒)



小児外科
ウエダ エ リ
植田 江莉
順天堂大学
(2017年卒)



病理診断科



病気の確定診断をつけるスペシャリスト

病理診断科は、消化管内視鏡生検や外科手術などで採取された細胞や臓器に関して病理診断を行っています。病理診断とは、病気の性質、腫瘍の進行状況、がんの転移の有無などについて、顕微鏡を使って病気の確定診断をつけることです。近年ではさまざまな免疫染色や遺伝子検査の手法を用い、治療方針などの決定にも深く関わっています。また、手術中に行われる術中迅速病理診断も行っており、手術範囲の決定にも重要な役割を果たしています。みなさんと直接お会いすることが少ない部署ですが、外科、内科、婦人科など医師や臨床検査技師としっかりとコミュニケーションをとって病理診断を行うことで、迅速で適切な治療をご提供できるよう心がけています。

文責：病理診断科 部長 大月 寛郎(写真中央)

診療を支える
スペシャリスト

細胞検査士

がん細胞に特化した検査の専門家



細胞検査士の主な仕事は、顕微鏡を用いて、たくさんさんの細胞の中から通常とは違う顔つきを持った細胞、いわゆるがん細胞を見つけ出すことです。例

えば、子宮がん検診は細胞検査士によって結果が報告されており、がんの早期発見に貢献しています。また、検査室内の業務だけでなく、患者さんの元へ直接お伺いし、医師とコミュニケーションをとりながら、適切な検査ができているかを顕微鏡で確認する業務も行っています。細胞検査士は、細胞に関する専門的な知識と経験が必要です。がん細胞の見逃しは病気の発見や治療の遅れにつながります。今後も患者さんへより良い医療を提供するため、日々責任感を持って業務に励んでいきます。



文責：臨床検査部 小池 洋桜(写真前列左)



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ

紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として7,700円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ

予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ

現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳/痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明